

融合研究臨床応用推進センター

Center for Advancing Clinical Research (CACR)

医療関連ものづくり交流会

製品化されたもの

平成18年から、山梨大学と甲府商工会議所では、大学の医療現場ニーズを看護部の方々を中心に皆様のご協力により収集し、現場の声による商品開発を医療関連ものづくり交流会参加企業と行っており、現在その窓口をCACRが担当しています。

↑まで、開発された製品は・・・

【病院寝衣】 輸液療法を続けながら着脱を可能とする寝衣(パジャマ)が開発、販売されています。

【トレンちゃん】 抜管防止グッズみために優しく、ある程度指が動かかせ、しかもチューブ抜去は不可能で患者さんに安全な手袋。

【くうりっぷ】 ベッドサイドアーム。長時間・長期間の治療を余儀なくされる患者さんへの対応を考慮し、ネブライザー、Yーピースを、患者さんの口元にしっかり固定する。等々・・・



医療の現場で「あとと便利」、「患者さんや医療現場で働く方々の役に立つもの」を目標に開発を行っていきます。

こんなのどうでしょう？あとと便利です等、皆様のおアイデアをお願いいたします。担当が「ものづくり提案書」をお届けいたしますので、お気軽にお問い合わせください。

担当:PHS 4171 熊谷



附属病院MEセンター

臨床工学技士 長嶺 博文さんに聞いてみた！

臨床工学士と聞くと、オペ室とかで機器を操作しているイメージですが、実際は何をされているのですか？

MEセンターの仕事は、①血液浄化業務:人工透析・血液濾過・血漿交換・血液吸着の各療法の装置の操作、保守点検。②人工呼吸器業務:人工呼吸器37台の始業・終業点検貸し出し及び保守。③体外循環業務:人工心肺装置を操作し、年間120例ほどの開心術において、0歳から90歳を超える症例まで幅広い年齢層に対応しています。症例数は少ないのですが、長期補助循環を見据えた回路設計としています。また、補助循環を応用した、一部体外循環も行っていて、一時的な下腿静脈遮断が必要な症例にも対応しています。自己血回収装置の操作・保守管理も行っています。④ME機器保守管理業務:中央管理方式を採用しており、輸液、シリンジポンプ、フットポンプ、人工呼吸器の貸出、ME機器の点検、修理等の保守業務。⑤院内教育:他部門と連携し、新卒医師研修、新人看護師研修、特定機能病院としての勉強会、人工呼吸器の勉強会等⑥広域救急搬送:山梨県消防防災ヘリ「あかふじ」に乗り込み、PCPS,人工呼吸器の管理をしながら搬送しています。以上大きく6つに分けられます。



臨床工学技士はメディカルスタッフの一職種であり、現在の医療に不可欠な医療機器のスペシャリストです。今後益々増大する医療機器の安全性確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献しています。